



岡崎市

ココカラ

『大人も子どもも。皆が笑顔で集まる地域のサードスペース』

～いまその時必要な誰かの求める居場所作り～



ココカラは岡崎市で2018年5月から月1回の子ども食堂として発起しました。

2023年1月に空家を借りた常設型へ移行。放課後に地域のサードスペースとして、申込不要、親の許可
不用、利用料無料で開放。開所日は全日軽食を口にできるようにしています。フードパントリーは適宜。
駄菓子屋も併設しています。今回は、ココカラ代表の北村万浪様にお話を伺いました。



△みんなで一緒にいただきます!!

活動を始めたきっかけは、自身の学童期の子ども会という原体験にあります。
食器を片手にワクワクして出かけた公園での炊き出し。仲間と外で食べるカレー
ライスは、どこへ行っても買うことのできない“食を共にする仲間がいる幸せ”と
いうスパイスがあふれんばかりに注がれていました。地縁が希薄化した現代、それ
があったからこそ安心安全で健全な地域社会だったと実感します。
微力ながらせめて自分の暮らす地域だけでもと、そんな思いで始めました。

ココカラでは、仲間との時間を謳歌する子、一人で読書やお絵描きに集中する子、寝ている子など過ごし方は
様々です。どのような過ごし方も担保できる場でありたいと思っています。

またボランティアという位置付けは設けておらず、子どもも大人も必要性を共に補っています。

調理を楽しんでくれる高齢者さんたちからは、『こんな年でも、自分たちの存在を必
要としてくれることが幸せ』『楽しくて自発的に出かける、介護施設ではないデイサー
ビスみたい』など、嬉しいお言葉をいただいております。ほとんどが80歳以上の方で
すが、開設から5年、誰一人欠けることなくここまで来ています。



△黄色いのぼりが目印のココカラ

感染症対策については、同調圧力や責任論の展開が激化し
がちな日本では、特に恐怖だけが煽られ対策一辺倒ですが、
不特定の人が寄り合う場だからこそ、冷静な理解の周知が重
要であると考えています。当たり前の日常が、いとも簡単に
奪われてしまった事への生き辛さやSOSにも直面しました。

情緒や精神衛生にも同様に比重を置き、過度な対策や強制
はしていません。



△絵を描いたり、遊んだり
思い思いに過ごす子ども達

『大丈夫！一人じゃないよ』と感じられる地域創生、相互扶助に重きを置いています。特別な事よりも何げな
い日常の積み重ねが大切ですね。正しさや羨ける事よりも、まずは関係性を築くこと、その想いを関わる大人は
大切にしています。それらを育むことで、繋がりや生まれるものだと思います。

活動と並行しながら『なぜこのような活動が必要な社会になったのか?』を思うものです。

それぞれにできる人ができる事を少しずつ、そんな想いが広がることを願っています。

(ココカラ 代表 北村万浪)



【ココカラ】

場 所：岡崎市上六名3丁目9-30（六名小学校北門すぐ）HP：[https:// kokokaraokazaki.jimdo.com](https://kokokaraokazaki.jimdo.com)

開催日：平日週3日（金曜日は固定）放課後15時～

Facebook：[https:// facebook.com/kokokaraokazaki2018](https://facebook.com/kokokaraokazaki2018)

対象者：対象不定（どなたでも）

連絡先(email)：kokokaraokazaki@gmail.com

担当：ココカラ 代表 北村万浪



2022年度版 愛知県・名古屋市 子ども食堂マップが完成しました！！



「子ども食堂マップ」（2022年度版）が完成しました。このマップは、愛知県の補助を受け、愛知県社会福祉協議会が制作したものです。

マップには、2022年度10月現在で、愛知県内で活動している子ども食堂のうち、ご承諾いただいた231ヶ所（愛知県162件、名古屋市69件）の子ども食堂が掲載されています。

今年度は、昨年より掲載件数が60件も増えました。是非ご活用ください！

△2022年度版愛知県・名古屋市子ども食堂マップ

愛知県社協ボランティアセンターのホームページに掲載中です！



※詳細はQRコードより、愛知県社会福祉協議会ボランティアセンターの子どもの居場所応援プラザのホームページにアクセスしてご覧ください。



※マップ作成後に追加、追記、変更があった場合は、「子ども食堂マップ追補」として、ホームページに掲載いたします。その際は、ボランティアセンターホームページより情報提供用紙をダウンロードしてご提出ください。http://aichivc.jp/volunteer/ouenplaza/children_dining.html



春休みに遊んで学ぼう



～使った水はどこへ行くんだろう？下水道の仕組みについて知っていますか～

メタウォーター下水道科学館なごやは、普段目にするのが少ない下水道の仕組みや役割について、子どもから大人まで幅広い世代の人が体験型のゲームや展示物を通じて、楽しみながら水の大切さを学ぶことができる施設です。

「暮らしと下水道」「下水処理の仕組み」「下水管の維持管理」「なごやの下水道の歴史と未来」「災害への備え」の5つのゾーンで、下水道の仕組みや役割についてわかりやすく解説しています。

春休みにぜひお出かけしてみませんか。

住所：〒462-0846 名古屋市北区名城1-3-3(名城水処理センター1階) 名城公園駅1番出口から北へ徒歩5分
入館料：無料 営業時間：9：30～16：30 休館日：毎週月曜日

詳細は公式ウェブサイトをご覧ください。

ウェブサイトURL：https://www.waterlab.nagoya/



子どもの居場所
応援プラザ
問合せ先

愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター内
TEL:052-212-5504

FAX: 052-212-5505 Eメール: info@aichivc.jp
HP: http://aichivc.jp/

〒461-0011 名古屋市東区白壁1-50愛知県社会福祉会館2階

社会福祉法人 愛知県社会福祉協議会



情報提供待ってます♪